

第三者評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人バリアフリー総合研究所

②施設・事業所情報

名称： ワンダーランド津幡	種別： 就労継続支援A型
代表者氏名： 浅野 哲洋	定員（利用人数）： 20名
所在地： 石川県河北郡津幡町湊端453-3	
TEL： 076-289-3737	ホームページ： http://www.daiei-dreamlights.com/index.html

【施設・事業所の概要】

開設年月日	平成29年 5月 1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社ダイエードリームライツ			
職員数	常勤職員： 6名	非常勤職員：	1名	
専門職員	（専門職の名称）	名	管理者（兼務）	1名
	職業指導員	2名	生活支援員	1名
	賃金向上達成指導員	2名	サービス管理責任者	1名
施設・設備 の概要	（居室数） 相談室兼事務室 1室 作業室3室 ロッカー室 1室	（設備等）	駐輪場 バリアフリースイレ1室 トイレ2室	

③理念・基本方針

ミッション（使命）

私たちの使命は社員とスタッフがお客様から頂いた仕事を通して働く幸せを感じる事です。ここでいう「働く幸せ」とは、自分がみんなから必要とされていると実感すること、人の役に立っていると実感すること、自分自身の成長を実感すること、他者の成長を噛みしめること、仕事ができる喜び・仕事をする楽しさを感じる事です。

顧客

私たちに自社の大切な仕事を任せて下さる企業様。

社員

スタッフと一緒に働く仲間であり、ワンダーランドでお客様から頂いた仕事を責任を持ってやり遂げる人。

スタッフ

社員と自分達の「働く幸せ」を守る人であり、仕事を通してお客様・利用者からの信頼される人。

顧客である企業様への提供価値 信頼 お客様は自社の大切な商品を私たちに信頼して仕事として提供して頂いています。私たちはお客様の期待以上の品質・納期でお客様との信頼関係を深める努力をしていきます。社員への提供価値 働く幸せ 就労継続支援A型事業所ワンダーランドは社員なくしては成り立ちません。しかしながらスタッフはサービスをしてあげる側ではなく、共に働く仲間として接します。まず社員のことを知り、そして受容し、相互の信頼関係を築き「働く幸せ」を感じてもらいます。

地域社会への提供価値 共生 障がいを持つ方が継続して働くことでそのご家族も喜び安心します。また仕事の担い手で困っている企業様の一助となります。就労継続支援事業を通して地域経済、地域社会に貢献します。そして私たちが積極的に地域の方々と交流することで地域を元気にします。

④施設・事業所の特徴的な取組

誰もができる単純な軽作業よりも、専門技術を身につけ誰もが簡単にできない高付加価値の仕事を受注し、顧客企業様との相互依存関係を構築し、生産活動収支を健全化することで、持続可能な事業所経営を第一義として取り組んでいる。

□ 専門技術を身につけた方は、就労時間を1日当たり5.5時間程度まで延ばして就労している日も設定している。また、80円で昼食提供をしているのでワンダーランド津幡に就労に来れば栄養バランスの整った食事を安い価格で食べられるので、利用者さんにとって収入も多く支出も少ない稼げる事業所となっている。

□ 送迎については、かなり離れたところに住んでいてダイレクトに公共交通機関利用で通勤できない内灘町居住者以外の方は、自転車や徒歩での通勤としている。このことによって利用者さんが自立して通う習慣になり、尚且つ体力増進や健康増進にも寄与している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年12月22日（契約日）～ 令和6年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（初回）

⑥総評

◇特に評価の高い点

・法人では、事業所で就労している利用者は事業所から福祉サービスを受けている顧客ではなく、取引先から受注した仕事を職員とともに期待以上の品質と納期で提供することを目的に働く仲間であり、そうした方針を基本姿勢として位置付けている。

・そのため、個別支援会議の開始前にはサービス管理責任者から当該姿勢を伝え、すべての検討・協議の根底に基軸となって進むよう取り組んでおり、少数精鋭の全職員が、当該利用者の、現在の状況、検討にあたっての留意点、支援アイデア等を協議し、計画も本人の経緯、希望、課題、支援する際の留意点を上げ、本人の健康状態や生活状況等を鑑みて、長期・短期目標、具体的な支援方法・方針を策定しており、計画策定、実施、評価、見直しの工程が適切に行われている。

・当該事業の場合、サービス利用は利用者との直接雇用契約であり、仕事もより高度な作業を求めていることから、一定程度の学力や知的レベル及び作業適性を要するため、その理解にはゆっくりと時間をかけて説明し、たとえ本人には聞きづらい内容であっても、不用意にごまかすことなく率直に伝え、その最終判断も、本人の自己責任で自身による決断で決めて頂いている。

・そのため利用者個々の特性に応じて、不得意な作業であれば配置換えをしたり、横についてやりやすいやり方を何度も何度も見せて修得を目指したり、得意な作業が見つかればそれを励まし、仕事をするのが好きになり自己肯定感が高まるよう取り組んでいる。また自分の障害を隠す隠さないことによるメリット、デメリットも伝え、現実社会への意識付けを図っている。

・利用者の一般就労支援に向けた職場開拓は、ハローワークや行政機関、福祉関係機関、地元企業等に営業展開をしながら、採用を検討して頂ける企業には当該利用者の特性を、利用者本人にも当該職場環境の理解ができるよう努め、一緒に職場見学をしたり、本人に作業体験を試みてもらうなどしており、また就職が叶っても、定期的に就職先訪問を繰り返し、本人へは職場環境の理解を促し、企業側にはさらなる理解を求めるとともに、本人の今の悩みや苦しみを傾聴し、揺れ動くその気持ちに共感しながら、職員も一緒になってモチベーションを高め、就労維持ができるよう組織として取り組んでいる。

◇改善を求められる点

今般、第三者評価基準に照らし合わせると、まだまだ未整備が多々あることを認識しながらも、事業所はあえて受審を決めており、このこと自体が福祉サービスに取り組む自らの役割と責任を果たそうとする姿勢と評価したい。そのため、喫緊の課題として、中・長期及び単年度計画の策定、様々な特性がある利用者とともに取引先の期待以上の品質と納期で提供を実現させるためにも標準的な実施方法の策定、事業所を運営する一員として職員がプライドを持てるよう倫理規定の策定をもってして、改善や向上に向け取り組まれることを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

長年にわたり、弊社で受審を検討していた第三者評価の結果を拝受し、一定のご評価をいただいた項目もあるものの未着手・未整備の項目も多々あり、障がい福祉サービス事業者として真摯に改善に取り組む所存である。福祉サービスにおける利用者利益を最優先に掲げる項目と意思決定支援について一定のご評価をいただき大変ありがたく感じているところであるが、権利擁護や福祉サービスの質の向上に向けての取り組みなどは大いに改善の必要性があると感じている。中長期計画の策定については、令和6年3月22日でほぼ完成しており、令和6年4月～施行予定の報酬改定の内容も踏まえて、引き続き地域社会や行政の負託と信頼に応えるべく職員一丸となって計画達成に向けて努力していきたい。ワンダーランド津幡では生産活動収支の黒字化に向けてこれまで売り上げ増加に邁進してきたが、毎年の最低賃金の大幅増加などもあり、今年度においても達成ができない見込みである。今後も生産活動収支黒字化の達成に向けて全力で取り組んでいくことは当然のこととして、第三者評価でご指摘いただいた標準的な実施方法の策定、倫理規定の策定について早急に改善していきたい。

最後に第三者評価受審にあたり、第三者評価機関の特定非営利活動法人バリアフリー総合研究所様には、ご多忙な中で当事業所の第三者評価に時には厳しくもあたたかくご指導いただいたことに心より御礼申し上げます。

⑧評価細目の第三者評価結果（別添）